

Summer Arts Japan 2016

都市のレガシーはTOKYOへ

東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、
スポーツはもとより、文化の祭典として、様々なプログラムが期待されています。
「Summer Arts Japan」は、このプログラムに先駆けるもので
音楽をはじめとする芸術文化を最先端テクノロジーと融合させ、
これまでにない新しいエンターテインメントとして、世界に発信していく画期的な企画です。

第1部

『2020に羽ばたく若き演奏家たち』

オープニング

金澤雅子(音)

ファンファーレ

若手ソリストの演目

サン＝サーンス「序奏とロンドカブリッチオーソ」(ヴァイオリン:城戸かれん)

グノー オペラ「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい!」(ソプラノ:光岡晴恵)

プッチーニ オペラ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」(テノール:城 宏憲)

ゴメス オペラ「グワラニ族の男」序曲(新大フィルハーモニア)



金澤雅子



城戸かれん



光岡晴恵



城 宏憲



田中 節子



新大フィルハーモニア

第2部

『Sports Arts Science』 アスリートの動きがAI技術により美しい音となる。 コシノジュンコのコスチュームを纏い、ステージ上で舞となる。

特別出演

マーチ「明日へ」

台東区の子とたち

Sports Arts Science「音舞の調べ」

コシノジュンコ

邦楽編子:東京藝術大学音楽学部邦楽科

(小鼓:盧 慶暉、大鼓:大原啓正、笛:西川浩平)

順天堂大学 体育競技部:豊田時生、松本啓吾、中村紗基、八木千夏



Finale

三都市連携プログラム『オリンピック讃歌』

演奏:新大フィルハーモニア、音楽大学フェスティバル・オーケストラ / 指揮:田中節子 / 司会:バトリック・ハーラン、井田寛子

2016年8月7日(日) 東京藝術大学奏楽堂 17:30開場/18:00開演
入場無料(入場券申し込み方法は裏面をご覧ください)

主催 Summer Arts Japan 実行委員会 [電話] 03-6276-1177 [Web] <http://go.ascii.jp/SAJ2016> [サマアーツジャパン2016] 後援

共催 東京藝術大学 [協力] (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(予定)、音楽大学フェスティバル・オーケストラ、全国芸術系大学コンソーシアム

後援 文化庁、スポーツ庁、台東区、台東区教育委員会、順天堂大学 [連携] 札幌市、長野市 [全国協力] 東京藝術大学COI拠点

Summer Arts Japanについて

Summer Arts Japanは、2020年に向けて多くの文化関係者、音楽関係者が中心となり企画されている音楽祭(芸術祭)の一つです。そのスタートとして、2016年8月は東京一札幌一長野のオリンピック開催経験のある都市の音楽関係者の連携によるスペシャルプログラムや、スポーツと芸術と科学による共演、若手アーティストの紹介、子供達による合唱など、様々な演目を取りそろえて開催いたします。2017年、2018年と連携都市の増加、使用される科学技術の高度化、海外からの出演者の参加など発展していくことを目標に、2020年さらにはそれ以降も夏の風物詩となるべく展開されていきます。

Sports Arts Scienceとは

コシノジュンコ氏の衣装に身を包んだ体操選手が華麗に舞う。この動きを体に取り付けたセンサーが検知し、AIが分析。AIの指令で自動演奏ピアノが音楽に変換するというスポーツと芸術、科学が共演する演目、それがSports Arts Scienceだ。楽曲は松下 功作曲の「音舞の調べ」を使用。日本の伝統と西洋音楽が出会う音楽である。邦楽の調べとオーケストラの調べ、それにスポーツ選手が奏でるピアノが音色が交わる時、かつてない驚きと感動の一幕となるはずである。

金澤翔子

1985年東京都目黒区生まれ、5歳から母の指導で書を始める。20歳の時、銀座春馬で初独奏。その後、鎌倉建仁寺、京都建仁寺で毎年独奏。奈良東大寺で揮毫・奉納、独奏。福島に「金澤翔子美術館」を開館。27歳、NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開館。28歳、国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。30歳、国連本部でスピーチ。京都に「シナリー金澤翔子美術館」開設。日本福祉大学准教授。

城戸かれん (ヴァイオリン)

東京藝術大学附属高等学校在学中に、第14回松方ホール音楽賞、第79回日本音楽コンクール第2位。2016年、カーン・ニールセン国際ヴァイオリンコンクール第4位、全日本学生音楽コンクール、ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール(ミラノ)にて第1位、ジョルジュ・エネスコ国際コンクール(ブカレスト)にて特別賞を受賞。現在、東京藝術大学4年在学中。

光岡曉恵 (ソプラノ)

昭和音楽大学卒、同大学院修了。2004年文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてイタリア、ミラノに留学。第5回静岡国際オペラコンクール第1位(日本人初)・三浦賞・オーディエンス賞の3冠を受賞。今後の活躍が期待される新星ベルカントソプラノ、藤原歌劇団員。

城 宏憲 (テノール)

東京藝術大学卒業、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞、新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡伊。第42回イタリア声楽コンクール、シエナ大賞。第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに若谷賞(聴衆賞)。本年2月東京二期会「イル・トロヴァトーレ」マンリーコで二期会デビュー。二期会会員。

田中祐子 (指揮)

東京藝術大学大学院指揮科修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、高岡健の各氏に師事。第16回東京国際コンクール入選。第51回ブザンソン国際指揮者コンクール、第51回ショルタイ国際指揮者コンクール、セミファイナリスト。これまでに、クアチア国立歌劇場リセカ管、読売日劇、東フィル、日フィル、大フィル等多数客演。2015-16年シーズンNHK交響楽団ハーヴェ・ヤルヴィ氏公式アシスタント。田中祐子ウェブサイト <http://yuko-tanaka.com/>

藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部)

東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年2回の定期演奏会、声楽科との合唱定期、オペラ研究部との共演、新卒業生(各科最優秀者)の紹介演奏のほか、年末恒例の「メサイア演奏会」、「第九公演」などを行っている。前身である旧東京音楽学校管弦楽団は、わが国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》などを本邦初演し、日本の音楽界の礎石として活動を果たしてきた。

JUNKO KOSHINO

文化服装学院在学中、新人デザイナーの登竜門といわれる装苑賞を最年少の19歳で受賞。1978年パリコレクション初参加。以降、世界各地でショウを開催。ブロードウェイミュージカルの舞台衣装、オペラの衣装、スポーツユニフォーム、インテリアデザイン、JOCセカンドエンブレム等CGのデザインなど活動は幅広い。05年イタリア文化功労勲章・カヴァリエール章受勲。観光庁 VISIT JAPAN大使、内閣官房 クールジャパン推進会議民間議員、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「文化・教育委員」。

会場

東京藝術大学奏楽堂

〒110-8784 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

- 京上野駅(公園口)・乗鞍駅(南口)。
東京メトロ千代田線乗鞍駅より徒歩10分
- 京成上野駅。東京メトロ山手線・銀座線・有楽町線より徒歩5分
- 台東区有楽バス「東百めぐり人」③上野駅・上野公園から
(東京芸術大学経由)④→1東京芸術大学下車(30分程度)

※ 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
※ 駅手前の子どもの同伴・入場はできませんので、ご了承ください。



ご観覧のお申し込み方法

ご観覧ご希望の方は、Summer Arts Japan 実行委員会ウェブサイトよりお申し込みいただけます。お申し込みが規定の人数を超える場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。

[URL]

go.ascii.jp/SAJ2016

または

「サマーアーツジャパン2016」で検索



[お申し込み方法] 上記URLから申し込みフォームにリンクしますので、お手数ですが、ひらかれたページから再度クリックをお願いいたします。または、「サマーアーツジャパン2016」で検索いただくか、上記QRコードよりお申し込みください。